

## 校長室だより

令和3年度 第4号

## 豊科のシンボル「しなの木」の開花の季節

本校の校章に描かれている2枚の葉は、古来からこの地域にあったしなの木の葉です。この時期に白い小さな無数の花をつけて、周囲に甘い香りを漂わせます。この木の仲間は世界中に分布していますが、シューベルトの歌曲に歌われた「菩提樹 (Lindenbaum)」も仲間の一種であるようです。確かに、初夏に開花して爽やかな香りを放ち、心地よい木陰をつくる大木に成長することや、葉がハート型に見えることなどが共通しています。「冬の旅」という歌曲集の中で「菩提樹」は、疲れ果てた旅人がこの木の下で過ごした幸せな日々を回想する珠玉の一曲になっていますが、本校にとっても、いつまでも愛され続ける「しなの木」です。



## 【校門の横にある小さな木の様子】



## 【中庭にある大木】



今が花盛りで甘い香りが遠くまで漂っています。花の根元には包(ほう)と呼ばれる細長い葉が延びています。

安曇野市豊科近代美術館で開催中の『安曇野市の日展作家8人展』に本校30回卒業の画家、西澤美幸さんの作品が出品されています。

西澤さんに寄贈いただき、学校正面玄関のロビーに展示している「明日へ」という作品も、今回の展覧会のために近代美術館に貸し出し中。普段展示しているロビーの壁には、プレートだけが残っています。

会期は2021年6月8日(火)～27日(日)です。

梅雨の鬱陶しい季節に入りますが、美術館の清々しい環境の中で、地元で活躍する作家の方々の作品を鑑賞してみたいかがでしょうか。

